

令和6年11月12日

各位

トモニホールディングスグループの令和7年3月期第2四半期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、令和7年3月期第2四半期（令和6年4月1日～令和6年9月30日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：山田径男）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス

(1) 令和7年3月期第2四半期（令和6年4月1日～令和6年9月30日）連結業績

当第2四半期における経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加により資金運用収益が増加したことに加え、役務取引等収益が増加したこと等により、前年同期比3,010百万円増加して45,437百万円となりました。経常費用は、預金利息の増加により資金調達費用が増加したこと等により、前年同期比1,288百万円増加して32,879百万円となりました。その結果、経常利益は前年同期比1,721百万円増加して12,557百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比1,669百万円増加して8,683百万円となりました。また、当第2四半期の連結業績等は順調に推移していることから、中間配当金につきましては、1株当たり前年同期比1円50銭増配の7円00銭としました。

当第2四半期末における財政状態につきましては、総資産残高は前年度末比1,571億円増加して4兆9,675億円となり、純資産残高は前年度末比75億円増加して2,849億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は前年度末比1,056億円増加して4兆4,428億円、貸出金残高は前年度末比566億円増加して3兆6,124億円、有価証券残高は前年度末比568億円増加して7,440億円となりました。

		令和7年3月期 第2四半期	前年同期比
損益	経常収益	45,437百万円	3,010百万円
	経常費用	32,879百万円	1,288百万円
	経常利益	12,557百万円	1,721百万円
	親会社株主に帰属する中間純利益	8,683百万円	1,669百万円
		令和7年3月期 第2四半期末	前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	49,675億円	1,571億円
	純資産	2,849億円	75億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	44,428億円	1,056億円
	貸出金	36,124億円	566億円
	有価証券	7,440億円	568億円
	自己資本比率（国内基準）	9.30%	0.07%

(2) 令和7年3月期通期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）連結業績予想

令和6年5月14日に公表しております令和7年3月期通期の連結業績予想（経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益）につきましては、以下のとおり修正しております。また、当期の親会社株主に帰属する当期純利益について当初予想を上回ることが見込まれることから、期末配当金予想につきましても、1株当たり3円00銭増配（前年同期比3円50銭増配）の9円00銭に修正しております。

①修正内容

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	19,450	13,150
今回修正予想（B）	22,600	15,350
増減額（B－A）	3,150	2,200
増減率（%）	16.1	16.7

②修正理由

当社の銀行子会社2行において、第2四半期までの資金利益及び役務取引等利益が当初予想を上回るとともに、物件費及び与信関連費用が当初予想を下回ったこと等により、令和7年3月期第2四半期の連結業績は当初予想を上回る結果となりました。こうした第2四半期までの業績を踏まえて、令和7年3月期通期の連結業績予想を上方修正するものであります。

2. 徳島大正銀行

(1) 令和7年3月期第2四半期（令和6年4月1日～令和6年9月30日）単体業績

当第2四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金及び役員取引等収益が増加したこと等により、前年同期比1,752百万円増加して25,099百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が増加したこと等により、前年同期比339百万円増加して16,082百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、経費が増加したこと等により、前年同期比7百万円減少して6,860百万円となりました。

経常利益は、前年同期比98百万円増加して6,559百万円となり、中間純利益は、前年同期比22百万円増加して4,382百万円となりました。

当第2四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、前年度末比228億円増加して2兆4,169億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比298億円増加して2兆5,581億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比214億円増加して2兆42億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は8.50%となりました。

金融再生法開示債権額は、前年度末比2,755百万円減少して34,216百万円、総与信に占める割合は1.67%となりました。

		令和7年3月期 第2四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	25,099百万円	1,752百万円
	コア業務粗利益	16,082百万円	339百万円
	コア業務純益	6,860百万円	△7百万円
	経常利益	6,559百万円	98百万円
	中間純利益	4,382百万円	22百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	4,241百万円	29百万円
	与信関連費用	447百万円	465百万円
		令和7年3月期 第2四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	26,778億円	620億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	24,169億円	228億円
	総預り資産	25,581億円	298億円
	貸出金	20,042億円	214億円
	有価証券	3,981億円	160億円
	自己資本比率（国内基準）	8.50%	0.01%
	金融再生法開示債権額	34,216百万円	△2,755百万円
不良債権	総与信に占める割合	1.67%	△0.16%

(2) 令和7年3月期通期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）単体業績予想

令和6年5月14日に公表しております令和7年3月期通期の単体業績予想（経常利益及び当期純利益）につきましては、以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	10,450	7,150
今回修正予想（B）	12,300	8,250
増減額（B－A）	1,850	1,100
増減率（%）	17.7	15.3

3. 香川銀行

(1) 令和7年3月期第2四半期（令和6年4月1日～令和6年9月30日）単体業績

当第2四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金及び役務取引等収益が増加したこと等により、前年同期比629百万円増加して17,284百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が増加したこと等により、前年同期比1,263百万円増加して13,416百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比1,172百万円増加して6,155百万円となりました。

経常利益は、前年同期比1,264百万円増加して5,797百万円となり、中間純利益は、前年同期比1,230百万円増加して4,141百万円となりました。

当第2四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比824億円増加して2兆306億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比841億円増加して2兆1,755億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前年度末比357億円増加して1兆6,175億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は9.96%となりました。

金融再生法開示債権額は、前年度末比1,418百万円増加して32,594百万円、総与信に占める割合は1.96%となりました。

		令和7年3月期 第2四半期	前年同期比
損益	経常収益	17,284百万円	629百万円
	コア業務粗利益	13,416百万円	1,263百万円
	コア業務純益	6,155百万円	1,172百万円
	経常利益	5,797百万円	1,264百万円
	中間純利益	4,141百万円	1,230百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	3,928百万円	547百万円
	与信関連費用	132百万円	△121百万円
		令和7年3月期 第2四半期末	前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	22,813億円	949億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	20,306億円	824億円
	総預り資産	21,755億円	841億円
	貸出金	16,175億円	357億円
	有価証券	3,443億円	409億円
	自己資本比率（国内基準）	9.96%	0.04%
	金融再生法開示債権額	32,594百万円	1,418百万円
不良債権	総与信に占める割合	1.96%	0.04%

(2) 令和7年3月期通期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）単体業績予想

令和6年5月14日に公表しております令和7年3月期通期の単体業績予想（経常利益及び当期純利益）につきましては、以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	8,650	5,800
今回修正予想（B）	10,050	6,800
増減額（B－A）	1,400	1,000
増減率（%）	16.1	17.2

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部
株式会社徳島大正銀行 企画部
株式会社香川銀行 総合企画部

TEL：087-812-0102
TEL：088-656-1118
TEL：087-812-5132